

令和4年度上半期 財政の状況

4年度上半期(令和4年4月1日～9月30日)の歳入・歳出予算の執行状況などをお知らせします。
市の会計は、一般会計、特別会計、企業会計に分かれています。数値はすべて4年9月30日現在のものです。

一般会計

一般会計は、市税を主な財源とし、福祉、教育、小・中学校や公共施設の維持・管理、道路整備、ごみ処理など、行政を運営する経費の大部分を賄う会計です。

4年度の予算現額(年度当初の予算額に補正予算額などを加減したもの)は29億6468万円です。執行状況は図1のとおり、歳入では収入率が44.8%、歳出では執行率が37.7%です。

表1 積立基金(貯金)

	現在高
一般会計	
財政調整基金	85億5513万円
特定目的基金	94億2775万円
特別会計	15億1405万円
合計	194億9693万円

※財政調整基金＝財源の不足に備えるための基金(家計でいう貯金など)
※特定目的基金＝公共施設整備など特定の目的のための基金(家計でいう住宅購入資金積立など)

表2 市債(借金)

	現在高 (元金の残高)
一般会計	
建設事業債	75億8416万円
災害復旧債	4790万円
赤字地方債	97億4215万円
合計	173億7421万円

※建設事業債＝学校、道路、公園などの公共施設の整備・改修のための借入金
※災害復旧債＝自然災害で被災した公共施設の復旧のための借入金
※赤字地方債＝財源の不足を補うための借入金

●積立基金(貯金)、市債(借金)、市有財産

積立基金(貯金)は表1、市債(借金)は表2、市有財産は図2のとおりです。

●市税負担、市民サービスなど

市民の皆さんが納めた市民税や固定資産税などの市税負担額、市民サービス費用(※1、貯金、借金の1人当たり・1世帯当たりの金額は図3のとおりです。

※1 市が行うサービスにかかる費用のことで、市税や国・都からの支出金などが財源

図1 4年度一般会計 予算の執行状況

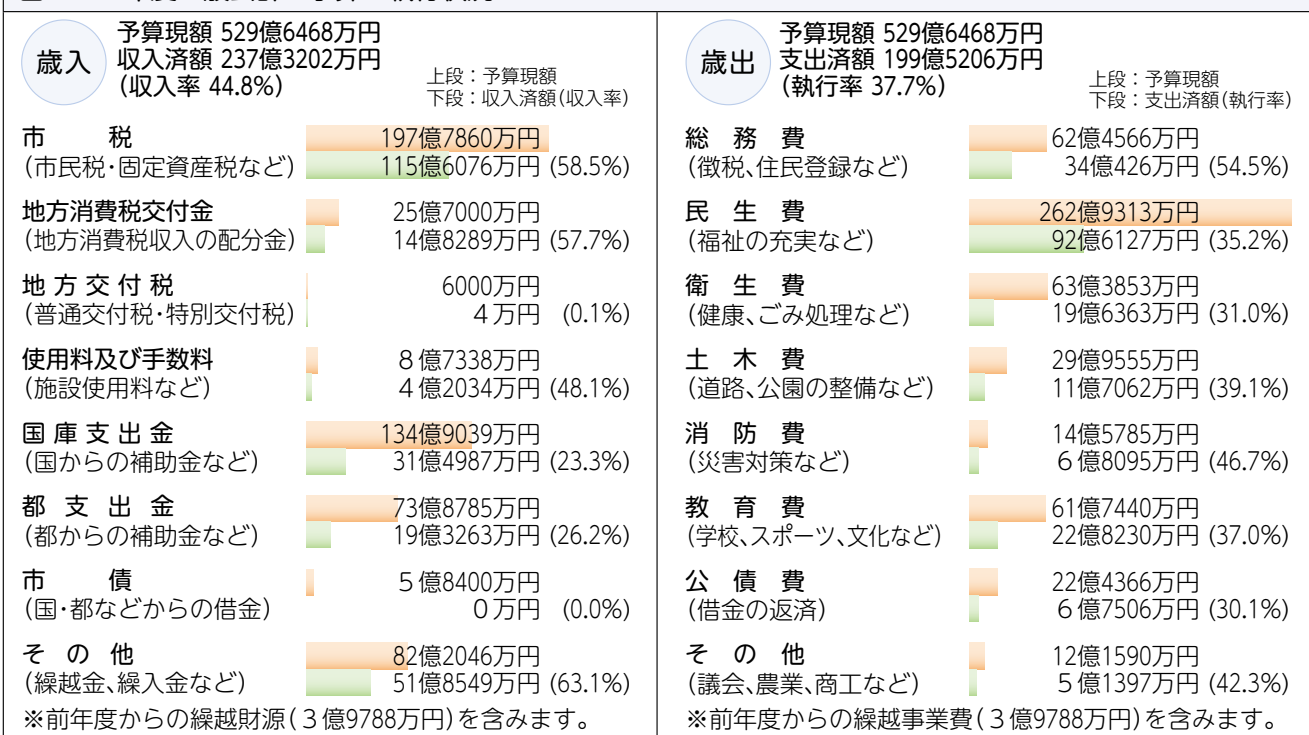
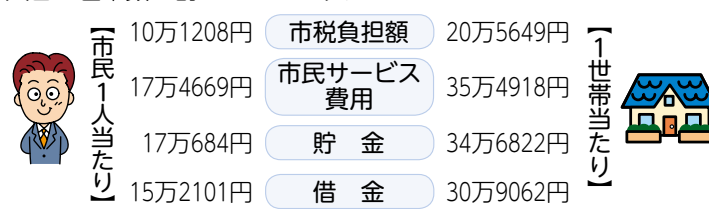


図2 市有財産



図3 市民1人当たり・1世帯当たりの市税負担額、市民サービス費用、貯金、借金

市税収入額、一般会計の支出額、積立基金現在高、市債現在高を人口と世帯数で割ったものです。



※4年9月30日現在の人口は11万4228人、世帯数は5万6216世帯です。

表3 4年度特別会計 予算の執行状況

会計名	予算現額	収入済額 (収入率)	支出済額 (執行率)
国民健康保険	125億1454万円	43億3425万円 (34.6%)	42億282万円 (33.6%)
介護保険	106億3026万円	39億8709万円 (37.5%)	40億1337万円 (37.8%)
後期高齢者療 医	28億7278万円	11億2282万円 (39.1%)	9億1928万円 (32.0%)
中神土地区 画整理事業	7億3752万円	1億7872万円 (24.2%)	1億6900万円 (22.9%)
合計	267億5510万円	96億2288万円 (36.0%)	93億447万円 (34.8%)

表4 水道事業・下水道事業の利用人口と有収水量

		4年度	3年度	前年度比
水道事業	給水人口	11万4227人	11万3839人	388人(0.3%増)
	給水世帯	5万6215世帯	5万5634世帯	581世帯(1.0%増)
	有収水量	602万3810㎡	620万9813㎡	△18万6003㎡ (3.0%減)
下水道事業	接続人口	11万3542人	11万3122人	420人(0.4%増)
	接続世帯	5万5879世帯	5万5290世帯	589世帯(1.1%増)
	有収水量	549万4077㎡	547万8403㎡	1万5674㎡ (0.3%増)

※有収水量とは、料金徴収の対象となる水量のことです。

表5 企業債(借入金)の現在高

		4年9月末	3年9月末	前年度比
水道事業	現在高(元金)	0円	361万円	△361万円 (100%減)
	給水人口1人 当たり	0円	32円	△32円 (100%減)
下水道事業	現在高(元金)	36億5809万円	40億6012万円	△4億203万円 (9.9%減)
	接続人口1人 当たり	3万2218円	3万5892円	△3674円 (10.2%減)

表6 経理の状況(消費税抜き)

	収益的収支		資本的収支	
	収入	支出	収入	支出
水道事業	*営業収益 7億8752万円 水道料金による給水の収益など 	*営業費用 3億1463万円 原水及び浄水費、配水及び給水費、設備修繕費、減価償却費など		*建設改良費 6779万円 水道を安定して使用するための工事(長寿命化、耐震化)などの費用
	*営業外収益 2004万円 預金利息、下水道使用料受託徴収収益など	*営業外費用 46万円 企業債の借り入れ利息など		
	合計 8億756万円	合計 3億1509万円	合計 0円	合計 6779万円
下水道事業	*営業収益 7億3925万円 下水道使用料、雨水処理負担金など	*営業費用 2億2828万円 下水道管などの維持費、汚水処理負担金など 	*他会計補助金 7600万円 一般会計補助金など	*建設改良費 1億2200万円 下水道を安定して使用するための工事(耐震化、汚水ま す設置)などの費用
	*営業外収益 619万円 預金利息、一般会計補助金など	*営業外費用 1772万円 企業債の借り入れ利息など	*負担金など 44万円 受益者負担金など	*企業債償還金 2億4044万円 企業債の元金
	合計 7億4544万円	合計 2億4600万円	合計 7644万円	合計 3億6248万円

※収益的収支とは、水道料金・下水道使用料による収入や、水道・下水道の安全な利用に必要な経費のことです。

※資本的収支とは、施設の改良・設置のために必要な経費のことです。

企業会計

水道事業・下水道事業は、複式簿記(※2)による公営企業会計で収支を管理しています。経営状況は、表4～6のとおりです。

特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合に、その運営や経理を明確にするため、一般会計から分離して収支を管理している会計です。各会計の予算現額と歳入・歳出予算の執行状況は、表3のとおりです。

す。

水道事業は、新たな借入金はなく、企業債※3は3年度末をもって完済しました。

下水道事業は、新たな借入金はなく、償還金2億5785万円(利息を含む)を支払いました。

※2 ひとつの取り引きを原因と結果の二面から記録する会計方式
※3 施設の建設や改良のために借り入れるお金

◇ 以上が4年度上半期の財政の状況です。新型コロナウイルス

感染症や物価高騰への対策として、ワクチン接種事業の拡充や水道料金・下水道使用料の減免などを実施するため、補正予算を編成しました。
市の財政は非常に厳しい状況にありますが、今後も市民サービスの維持・向上のため、限られた財源を有効に活用し、適正な予算執行に努めます。
☆詳しくは、一般会計・特別会計は財政課、下水道事業会計は下水道課、水道事業会計は水道部業務課 ☎5436111へ。